

会場のようす



①オープニング『思い出のスライドショー』



本校150年を振り返るスライド動画(約10分)でスタートしました。昔の学校の様子、今の教育活動、地域の皆さんとのふるさと学習など盛りだくさんの映像でした。

この季節の志方の風物詩「コウノトリ」(児童作品)が会場2階柵に飛び交い、お祝いを演出しました。

来賓席



②記念式典 国歌斉唱 挨拶 来賓紹介  
藤原実行委員長式辞 小南教育長祝辞 学校長式辞



150年という流れの中で受け継がれてきたこの学校・この地域の「やさしさ」あふれるつながりを大切に…。今日のテーマ1つは「地域への感謝」もう1つは「児童も含めみんなで祝う」。子どもたちの発信・発表の舞台もあります…。みなさんで「幸福感あふれる学校づくり」をさらに進めてまいります…。

司会 教頭



③記念講演 演題：『西小150年ものがたり ～西にそびえる高御位山、北につらなる大藤山～』  
講師：講談師 旭堂 南海 氏 (本校 昭和51年度卒業 内海 浩明)



ふるさと愛あふれる南海様を講師に迎えることができ、子どもも大人もよくわかる楽しいお話をしていただきました。

子どもたちが住んでいる地区の由来、神話の時代や秀吉の時代におけるこの地域の興味深いお話をはじめ、ふるさと志方や加古川にまつわる歴史的事実をあれだけわかりやすく、簡単に、しかも楽しく話される南海様の語り、プロの技を見ることができました。

自分たちの大先輩に旭堂南海様がおられ、その大先輩の素敵な話をライブで聴けたことで、子どもたちの多くは「あこがれ」を抱いたことでしょう。子どもたちのこれからは活かされていく、そんな出会いのある講演会でした。



④150周年記念ソング(応援歌)披露

『笑顔の仲間』 作詞・作曲：鹿多 証道 氏 (本校 昭和36年度卒業)

応援歌「笑顔の仲間」は、子どもたちにとって親しみやすい素敵な歌であり、いつも喜んで歌っています。150周年の何よりの記念品であり、これから歌い続けていくなかで、子どもたちを励ます歌、子どもたちに勇気をもたらす歌として、心に残り続けていくものとなります。

鹿多氏の指揮で児童歌唱

6年生の演奏で全員歌唱

鹿多氏からのコメント



150周年記念ソングの作詞作曲及び、練習時から式典に向けての子どもたちへのご指導、また式典当日の披露では、歌唱や演奏の指揮とともに、所感を述べていただくなど、たくさんのご指導をいただきました。

感謝状の贈呈



⑤児童のアトラクション(児童発表)

1 しかたんバンド演奏「となりのトトロメドレー」



コロナ禍で厳しい練習状況が続いています。150周年行事に金管バンドでの出演が難しいので、思い切って吹かない楽器を使っての演奏に挑戦しました。

志方西の町に生まれ、心も体も健やかにそしてたくましく育っていく様子を四季の移ろいに重ね合わせ、コレオグラフィーで表現しました。

3 5年生発表「私たちからのお礼のメッセージ」



お世話になった地域の方々に、お礼の言葉を伝えました。1年生から5年生までの間、色んな地域の方々にお世話になりました。感謝の気持ちを込めての発表でした。

笑顔の仲間

1. そらに ひかりが あるように  
みんな ひかりを もっている  
いのちの かがやき ころろはおどる  
ファイト! ブライト! はばたこう

2. あめふるときも かぜのひも  
つまづきながらも ささえあう  
いのちの かがやき ころろはおどる  
ファイト! ブライト! はばたこう

レッツ ゴー!! レッツ スマイル!!  
にししょう にしっこ しかたにし  
にししょう にしっこ しかたにし

2 1~4年生発表 「ふるさとに生きる」



学校の歴史について調べてきました。校舎や服装など時代とともに移り変わってきたものはたくさんありました。しかし、150年経った今でも変わらないものがありました。それは、地域の方々の温かさ、先輩達の小学校を愛する気持ち、子ども達の笑顔です。6年生として150周年の記念すべき年を迎えられる喜びを胸に、未来に向けてのメッセージを伝えました。



⑥ 閉会行事 校歌斉唱・閉会挨拶

柴田実行副委員長



寄贈絵画について

右：岡田 慶一氏作(三木市 画家)

「木漏れ日」

左：増田 美知子氏 作(本校職員)

「夕刻」

未来にわたって子どもたちに語りかけてくれる絵画であり、「豊かな心を育む」絶好の記念品でもあります。ともに100号の油絵。玄関と1F廊下に設置。

